

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

久慈市（岩手県）

○計画期間:平成26年4月～平成31年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点(平成30年3月31日時点)の中心市街地の概況

第1期久慈市中心市街地活性化基本計画（平成19年5月～平成25年3月）に基づき、やませ土風館（観光交流センター、物産館等）及び県立久慈病院跡地の整備、巽山公園・小嶋公園の改修を行った結果、中心市街地に新しい観光・交流拠点が形成されたことから、1期計画以前と比べ「まち」の賑わいが大きくなった。

平成23年3月に発生した東日本大震災が影響し観光客が激減するとともに、商店会等による自主イベントの中止や自粛から、中心市街地の賑わいが著しく低下したが、当地域が主要ロケ地となったNHK連続テレビ小説「あまちゃん」が平成25年4月から放送されたことに伴い、市の観光客数が飛躍的に増加した。同時にやませ土風館の入館者も大きく伸びたため、中心市街地の活性化が図られたところであるが、平成25年度をピークに観光客は減少傾向にある。また、平成25年5月に「三陸復興国立公園」の指定を受けたことから、北三陸の玄関口として観光誘客に大きく貢献している。

このような状況の中、第2期計画の核となる久慈駅前広場整備事業及び複合施設整備事業の設計業務等を進めていた矢先の平成28年8月30日、台風第10号により市内全域が被災し、特に中心市街地の被害が甚大であった。このため、中心市街地の多くの店舗、事業所等が休業、あるいは、一部廃業を余儀なくされ、また、市外からの訪問者が減少したため、市内経済の損失が大きくなった。現在、国県の支援により、中心市街地の店舗、事業所等の再建が順調に進んだことから、やませ土風館を中心とした各種イベントなどが実施され、中心市街地への来訪者や交流人口の回復が図られているとともに「成功店モデル創出・波及事業」や「空き家店舗対策チャレンジショップ事業」などの各種ソフト事業により、個店の売り上げ増や空き店舗解消が図られ、中心市街地の活性化に寄与している。

なお、複合施設整備事業については、台風第10号被害による一時的な業務中断等から、計画期間内の完了は非常に困難な状況にあるが、やませ土風館との連携による中心市街地の賑わい創出という事業効果を早期に発現するため、1日でも早い完了を目指し、鋭意取り組んでいる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

| (中心市街地区域) | 平成25年度 (計画期間開始前年度) | 平成29年度 (フォローアップ年度) |
|-----------|-----------------------|-----------------------|
| 人口 | 1,874 人 | 1,685 人 |
| 人口増減数 | △7 人 | 3 人 |
| 社会増減数 | 15 人 | 19 人 |
| 転入者数 | 46 人 | 49 人 |

※各年度1月1日現在

2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

「成功店モデル創出・波及事業」や「空き家店舗対策チャレンジショップ事業」などの各種ソフト事業については、関係機関の連携が図られ着実に実施されており、個店の売り上げ増や空き店舗解消などの効果があり、中心市街地の活性化に寄与している。

また、第 2 期計画の中核的事业である久慈駅前広場整備事業及び複合施設整備事業については、中心市街地の回遊者増など大きな事業効果を期待していることから、その発現のため着実な事業推進が求められている。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 前回の見通し | 今回の見通し |
|------------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------|--------|
| やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する | やませ土風館・複合施設の利用者数 | 773,659 人 (H24) | 858,000 人 (H30) | 591,391 人 (H29) | ① | ④ |
| やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する | やませ土風館の商品販売額 | 504 百万円 (H24) | 512 百万円 (H30) | 584 百万円 (H29) | ① | ① |
| 駅前地区の再生により中心市街地全体の回遊を達成する | 歩行者・自転車通行量 | 5,508 人 (H24) | 5,514 人 (H30) | 2,722 人 (H29) | ③ | ③ |
| 社会増減人口の減少に歯止めをかけ、定住性を向上させる | 中心市街地定住人口に係る社会増減数 | △74 人 (H19～24) | +2 人 (H26～30) | △120 人 (H26～29) | ④ | ④ |

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「やませ土風館・複合施設の利用者数」については、平成 28 年度フォローアップに続き基準値を下回った。平成 28 年台風第 10 号の影響により減少した観光バスの立ち寄りが回復しなかったことや、「あまちゃん」の放送終了後 4 年経過したことによる観光効果の陰りなどが考えられる。なお、平成 30 年度は「やませ土風館」の 10 周年にあたり、感謝祭をはじめとした各種イベントが開催されるほか、「観光交流センター魅力向上事業」の観光 PR 活動事業等を着実に推進し、観光バスの立ち寄り増加に努めることとしており、引き続き目標達成に向け最大限努力していく。

「やませ土風館の商品販売額」については、利用者数こそ平成 28 年度フォローアップを下回ったものの、市民の利用に支えられ目標値を上回った。今後も商店街と連携し集客を図り、商品販売額の増加を見込む。一方、賑わいを支える上で、市外からの交流人口による販売額の増進が重要であることから、本計画に位置付けている各事業を着実に推進することにより、更なる改善を目指す。

「歩行者・自転車通行量」については、平成 28 年度フォローアップに引き続き基準値を下回ったが、市の観光入込数の減少による回遊者の減少や、通行量調査日の悪天候などが影響したものと考えられる。今後は、「久慈駅前広場整備事業」及び「いつくし広場の改修整備」の事業効果を見込むほか、駅前コンシェルジュ設置事業や、商店会連合会が行う空き店舗を利用した交流スペースの活用を促進させるなど、引き続き目標達成に向けて最大限努力していく。

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」については、平成 26～29 年度の増減累計が△120 人と基準値を大きく下回り、非常に厳しい状況にある。短期間で即効性のある取り組みは、非常に困難な状況であるが、目標達成のため、既存の街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業を着実に推進していくほか、引き続き既存事業の更なる周知を図り、数値の向上に努めていく。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

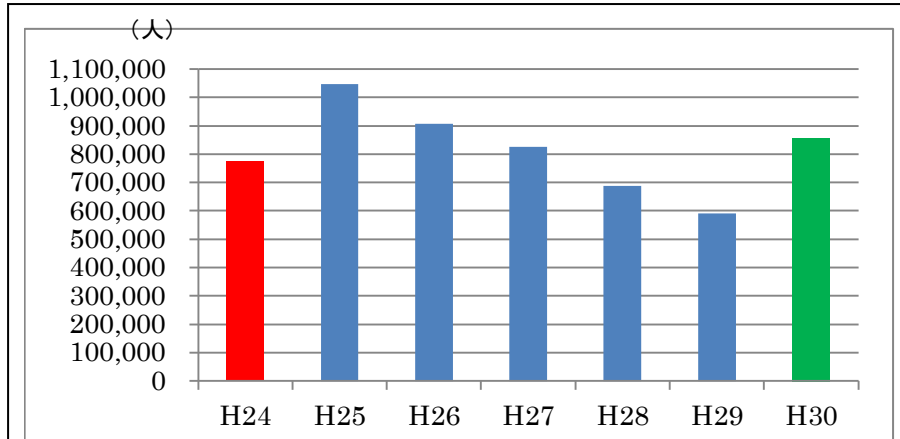
「やませ土風館・複合施設の利用者数」については、平成 28 年度フォローアップにおいて基準値を下回り、その要因を平成 28 年台風第 10 号被害による一過性のものと捉えたことから、平成 29 年度での回復を見込み目標達成可能（①）としていた。しかしながら、観光客等の回復が思うように図られず、平成 29 年度も再び基準値を下回った。

今後において、平成 30 年度に整備が完了する久慈駅前広場との連携などによって、利用者の増を見込むが、目標達成に必要な複合施設の整備進捗が遅れ、計画期間内の整備効果発現が困難であるため④と評価した。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「やませ土風館・複合施設の利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P53～P58 参照

●調査結果の推移



| | (人) |
|-----|-------------------|
| H24 | 773,659 (基準年値) |
| H25 | 1,046,763 |
| H26 | 908,082 |
| H27 | 824,592 |
| H28 | 688,087 |
| H29 | 591,391 |
| H30 | 858,000 (目標値) |

※調査方法：レジ及びカウンターによる計測

※調査月：平成30年4月

※調査主体：施設の指定管理者

※調査対象：施設の利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 複合施設整備事業（久慈市）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成31年度【実施中】 |
| 事業概要 | 久慈駅前に図書館、地域交流センター及び観光交流センターの機能を有する複合施設を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成29年に着手し、現在進めている建築設計の完了後、平成30年度は工事に着手する。 |

②. 観光交流センター魅力向上事業（民間）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成20年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 観光交流センター「風の館」における定期イベントの開催及び観光PR活動を実施する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 観光及び特産品の情報発信や、屋外イベント及び市民カルチャー講座の開催等（平成29年度は延べ8,050名の参加）により、やませ土風館の利用者増が図られ、中心市街地の賑わいの創出と一層の活性化に寄与している。 |

③. あまちゃんハウス運営事業（久慈市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成26年度～【実施中】 |
| 事業概要 | NHK連続テレビ小説「あまちゃん」関連グッズの展示や販売を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成29年度は、28,934名の来場者があり、観光誘客による中心市街地の活性化に寄与している。 |

④. みちのく潮風トレイル回遊事業（久慈市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成 26 年度～【実施中】 |
| 事業概要 | みちのく潮風トレイル枝線を活用し、中心市街地の通過によるウォークイベントを開催する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 三陸復興国立公園の指定に伴い、平成 29 年度は 26 名の参加者が中心市街地を回遊し、中心市街地の活性化に寄与している。 |

⑤. ジオサイト・ジオポイント回遊事業（久慈市）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 未実施 |
| 事業概要 | 駅前複合施設に、ジオサイト・ジオポイント等の案内板を設置するとともに、ジオサイト・ジオポイントの案内人を養成、配置する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 駅前複合施設の整備に合わせ事業を実施する見込みであることから、未実施となっている。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

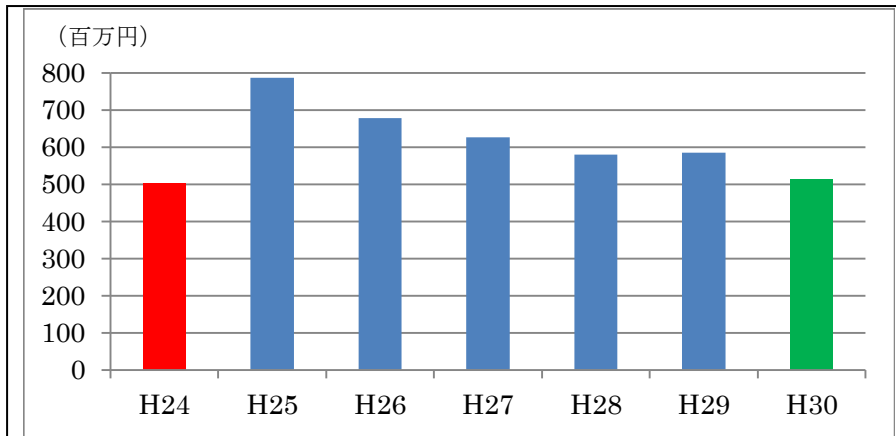
「やませ土風館・複合施設の利用者数」については、平成 28 年度フォローアップに続き基準値を下回った。平成 28 年台風第 10 号の影響により減少した観光バスの立ち寄りが回復しなかったことや、「あまちゃん」の放送終了後 4 年経過したことによる観光効果の陰りなどが考えられる。一方で、「あまちゃんハウス」は、平成 26 年度のピーク時と比較すれば減少傾向にあるが、ロケで使用した大道具等が見られる施設とあって根強いファンに支えられ、当初見込んだ減少数よりも成績よく推移している。観光誘客が図られていると捉えているが、土風館の利用者が減少傾向にあるため、観光客の回遊性を向上させる事業の取り組み強化が必要と考える。

なお、複合施設整備事業が計画期間内に完了しない見込みから、目標達成は厳しい状況にあるが、平成 30 年度は「やませ土風館」の 10 周年にあたり、感謝祭をはじめとした各種イベントが開催されるほか、「観光交流センター魅力向上事業」の観光 PR 活動事業等を着実に推進し、観光バスの立ち寄り増加に努めるなど、引き続き目標達成に向け最大限努力していく。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「やませ土風館の商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P58～P61 参照

●調査結果の推移



| 年 | (百万円) |
|-----|---------------|
| H24 | 504 (基準年値) |
| H25 | 786 |
| H26 | 678 |
| H27 | 627 |
| H28 | 579 |
| H29 | 584 |
| H30 | 512 (目標値) |

※調査方法：やませ土風館内の各店舗の商品販売額を集計

※調査月：平成30年4月

※調査主体：(株)街の駅くじ

※調査対象：やませ土風館の商品販売額

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 成功店モデル創出・波及事業（久慈商工会議所）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成21年度～【実施中】 |
| 事業概要 | コンサルタントによる個店指導及びサークル研修を開催する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 商店街を形成する個店の魅力向上、商店街の活性化手法の習得に向け、成功店の成果を意欲ある商業者を通じ広く波及させることにより、魅力ある商店街の形成に寄与している。平成29年度は2店舗が参加した。 |

②. 商業活性化アドバイザー活用事業（久慈市中心市街地活性化協議会）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成19年度～【実施中】 |
| 事業概要 | アドバイザー派遣制度を活用し、イベントやサービスなど商業者の自主的な活動を支援する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 商店街の活性化を図るためには、イベントやサービスなど商業者の自主的な活動も必要であり、専門家のアドバイスにより活動が活発化し、中心市街地の活性化に寄与している。 |

③. 空き店舗対策チャレンジショップ事業（久慈商工会議所）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成14年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 新規開業者等が空き店舗にチャレンジショップを開設する際、店舗賃借料の2/3を助成する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 中心市街地に散見される空き店舗を解消し、商業担い手の育成に寄与している。平成29年度は4件の実績があった。 |

④. 「北三陸・あまちゃん市」事業（民間）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成 25 年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 「市日」と連携し、毎月 18 日に各個店がお買い得セールを実施するとともに、景品の当たる抽選会を実施する。平成 27 年度からは「まちなか・ありがとう市」に改称。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 多くのお客で賑わう「市日」と連携することで、商店街への波及効果をもたらし、中心市街地への賑わい創出に寄与している。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

やませ土風館の商品販売額は、主要事業の取り組みにより、昨年度に引き続いて目標を超える水準を維持するとともに、平成 28 年台風第 10 号被害等の影響で計画期間中最も低くなった昨年度よりも増額となった。

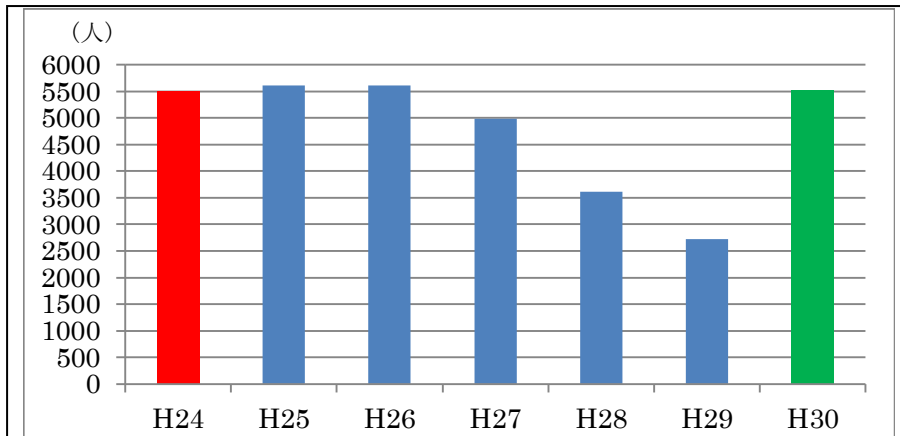
今後も、「あまちゃん」や三陸復興国立公園を最大限に活かした取り組みを行い、やませ土風館に観光客等呼び込むことで、年間商品販売額に関する目標達成は可能だと思われる。

また、駅前に整備する複合施設とやませ土風館の連携を図り、賑わいを商店街へと波及させ、中心市街地全体の販売額の維持・増進を目指していきたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P61～P64 参照

●調査結果の推移



| 年 | (人) |
|-----|-----------------|
| H24 | 5,508 (基準年値) |
| H25 | 5,614 |
| H26 | 5,607 |
| H27 | 4,990 |
| H28 | 3,615 |
| H29 | 2,722 |
| H30 | 5,514 (目標値) |

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査

※調査月：平成29年10月

※調査主体：久慈商工会議所

※調査対象：歩行者及び自転車通行者、市内6地点の合計（平日・休日の平均）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 久慈駅前広場整備事業（久慈市）

| | |
|------------|------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成30年度【実施中】 |
| 事業概要 | 久慈駅前交通広場の拡大及びイベント広場の新設を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成29年度は工事に着手し、平成30年度内の完成に向け事業を進める。 |

②. 路線バス運行事業（久慈市）

| | |
|------------|-----------------------------|
| 事業完了時期 | 平成20年度～【実施中】 |
| 事業概要 | JRバス廃止路線への市民バスの運行を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 来街者の交通・アクセス面での利便性向上に寄与している。 |

③. 街なか回遊性向上事業（久慈商工会議所）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成22年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 市民のニーズに適応した効果的な集客イベントを開催する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 集客イベントは、日々変化する様々な世代のニーズに的確に対応することが重要であり、効果的なイベント企画により、中心市街地の魅力づくりと、歩行者・自転車通行量の増加による賑わいに創出に寄与している。 |

④. 駅前コンシェルジュ設置事業（三陸鉄道株式会社）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成 23 年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 三陸鉄道久慈駅に案内人を設置し、各種の情報提供と駅前の賑わい創出のためのイベントを実施する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 鉄道利用者の視点に立った細やかなサービスを提供することによって当市へのリピート率を高め、交流人口の増加と合わせて歩行者・自転車通行量の増加による賑わいに創出に寄与している。 |

⑤. 街なか交流観光誘客実践事業（久慈広域観光協議会）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成 25 年度～【済】 |
| 事業概要 | JR、三陸鉄道と連携した回遊イベントを実施する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 交流人口の増加や歩行者・自転車通行量を増加させ、中心市街地の賑わい創出に寄与している。 |

⑥. あまちゃんハウス運営事業（久慈市）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成 26 年度～【実施中】 ※再掲 |
| 事業概要 | NHK連続テレビ小説「あまちゃん」関連グッズの展示や販売を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成 29 年度は、28,934 名の来場者があり、観光誘客による中心市街地の活性化に寄与している。 |

⑦. 駅前賑わいづくり事業（岩手県旅館ホテル組合久慈支部）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成 25 年度～【済】 |
| 事業概要 | 久慈駅前に案内人を設置し、久慈駅を拠点とした観光誘客を実施する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 交流人口の増加や歩行者・自転車通行量を増加させ、中心市街地の賑わい創出に寄与している。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

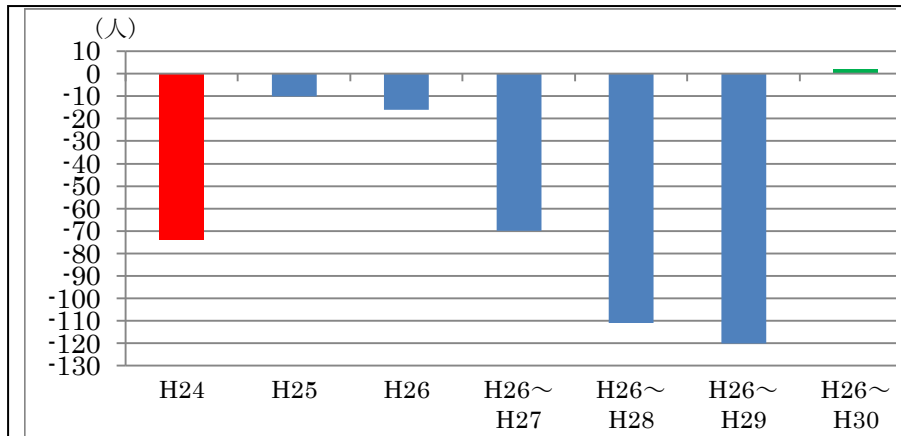
平成 28 年度フォローアップに引き続き基準値を下回ったが、市の観光入込数の減少による回遊者の減少や、通行量調査日の悪天候などが影響したものと考えられる。

なお、通行量調査については、台風の影響により予備日も含め大雨の予報が続き、止むを得ず雨天日に調査を実施したことから、減少幅は一過性のものであると捉えるとともに、今後において、「久慈駅前広場整備事業」及び「いつくし広場の改修整備」の事業効果を見込むほか、駅前コンシェルジュ設置事業や、商店会連合会が行う空き店舗を利用した交流スペースの活用を促進させるなど、引き続き目標達成に向けて最大限努力していく。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」※目標設定の考え方基本計画 P64～P66 参照

●調査結果の推移



| 年 | (人) |
|-------------|---------------|
| H19～ H24 | △74 (基準年値) |
| H25 | △10 |
| H26 | △16 |
| H26～ H27 | △70 |
| H26～ H28 | △111 |
| H26～ H29 | △120 |
| H26～ H30 | +2 (目標値) |

※調査方法：区域内人口に係る自然増減数を把握し、社会増減数を算出

※調査月：平成30年3月末時点

※調査主体：久慈市

※調査対象：中心市街地内居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 太陽光発電システム整備事業（久慈市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成26年度【済】 |
| 事業概要 | 地域防災計画で避難場所に位置付ける、やませ土風館に太陽光発電システムを設置する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 中心市街地に住む住民の避難場所として、災害時には電力の確保対策として機能することから、住民が安心して住むことができる環境づくりに寄与している。 |

②. 街なか空き家バンク事業（久慈市、民間）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 平成26年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 中心市街地内にあるアパートや借家の情報を収集し、それぞれの物件の特徴について広く情報を提供する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | Webなどで情報提供を行い、中心市街地内の物件の選択を促し、定住人口の確保に寄与している。 |

③. 街なか居住促進事業（久慈市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 平成20年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 中心市街地外居住者が中心市街地内に住宅を新築し移り住む際、または賃貸住宅を新築する際に助成する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 中心市街地における人口、世帯数減少の課題解決、定住人口の確保に寄与している。平成29年度は2件の実績があった。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」については、平成26～29年度の増減累計が△120人と基準値を大きく下回り、非常に厳しい状況にある。計画事業の追加を検討したが、市内多くの地域でも社会減が問題となっており、短期間で即効性のある取り組みは非常に難しい状況

にあるが、目標達成のため、既存の街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業を着実に推進していくほか、引き続き既存事業の更なる周知を図り、数値の向上に努めていく。